

## ～うんといいいあんぽ柿、GAPで支援～



GAP手法による衛生管理に配慮した乾燥行程



うんといいいあんぽ柿のあんぽ柿は心を込めて仕上げていきます

J Aこま野はあんぽ柿の産地として知られており、平核無と大和百目を中心としたあんぽ柿が生産・出荷されています。

あんぽ柿は加工食品として流通されますので、生果と比較して生産工程における衛生管理は特に重要視されます。これまでも生産出荷基準の中で出荷に至るまでの注意点について周知徹底してきたところですが、本年産からは安全安心を確実なものとする中で、市場や消費者に対する信頼確保の重点化が改めて確認されました。そしてこの実現に向け、安全安心且つ質の高い「こま野ブランド」を提供するため、あんぽ柿出荷者によるGAP（農業生産工程管理）手法を用いた点検活動に取り組むこととなり、これらの取り組み開始に向けた検討や点検シートの作成などについて支援を行ってきました。さらに品質が高く大玉（4L級）の百目柿にあつては、「富士の国やまなし逸品農産物（うんといいい山梨さん）」として市場出荷を行い、あんぽ柿の産地から自信を持って「やまなしブランド」を発信していく態勢が整いました。



## 地域特産品を活用した6次産業化の取り組み支援

峡東地域では、NPO法人を中心とした農業者グループが、ぶどう棚で栽培したカボチャを「甲州天空かぼちゃ」と命名して特産化に取り組んでいます。徐々に栽培面積も増加し、県内の大型小売店等へ出荷していますが、外観・規格等により青果としては販売できないものが発生していました。

そこで、農業者グループでは、「美味しい甲斐開発プロジェクト」において小泉武夫先生から提案されたカボチャの甘酒開発に取り組み、峡東地域普及センターでは事業の活用を通じた加工品開発の支援を行いました。

今年度は、製菓向けなどより広い販路が見込める商品として、甘酒を濃縮した「ペースト」を新たに開発し、「美味しい甲斐開発プロジェクト」で高い評価を受けました。また、「ペースト」を用いた加工品としてアイスクリームの試作も行っています。普及センターでは、商品表示の指導や工業技術センターと連携した賞味期限の設定・成分分析の検討、マッチングフェア等でのPR支援を行いました。今後の課題はペーストの日持ち性の改善、

安定生産に向けた工程の確立、販路の確保などです。普及センターでは、引き続き6次産業化の活動がさらに発展するように支援を行っていきます。



開発したカボチャの甘酒



マッチングフェアで製品のPR



## 地域資源を活用した都市農村交流ツアーづくりに取り組んでいます



都市農村交流ツアーづくりの勉強会のひとコマ

現在、本年度の新規事業であります「農村女性による農村資源活用事業」を活用して、地域資源を用いたツアーづくりの勉強会を行っています。

これまでにワインツーリズムや狩猟ツアーなど地域資源を活かした着地型ツアーを手がけている(株)タビゼンの須藤治憲氏を講師として迎え、若手女性農業者や生活研究グループ、NPO法人、他産業従事者等

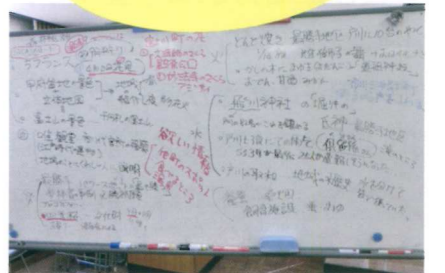
を参集し、計5回の勉強会を開催しました。

勉強会では、自分達で地域資源を活用した都市農村交流のツアーを企画しビジネスとして取組むことができるように、実際に地域資源の掘り起こしや行程案の作成、経費の積算等を行った結果、5つのツアーを作成することができました。今回作成したツアーについては来年度の実施に向け、より具体的な内容について詰めていくことになっています。

また、今年度については、今回作成したツアーのPRができるような内容のプレツアーを実施する予定です。



勉強会では  
ボードに都市農村交流の  
ヒントがぎっしり



## ニオイザクラの新品種 “紅富士”の産地化に向けた取り組み



生産者を交えて販売検討会

富士北麓地域は、県内でも有数の花き産地で、中でもアッサムニオイザクラ生産量は、全国一位となっています。その生産者で組織する「アッサムニオイザクラ研究会（会員13名）」では、新品種育成など、先進地としての取組みを熱心に行っているものの、昨今の鉢花価格の低迷や燃油高騰による生産コストの増加などから、経営環境の悪化が顕在化しています。

そこで、この改善に向け、当普及センターでは、総合農業技術センターと連携し、これまで以上に高品質な品種の育成や産地PRの強化を支援してきました。

その結果、従来品種よりも花色が濃く、花持ちのよい“紅富士”の育成(品種登録出願中)を実現するとともに、この新品種に適した栽培技術の検討や有利販売に向けた市場展示会など各種イベントへの積極的な出展を支援し、多くの商談の成立や市場での高い評価を得ることができました。

当普及センターでは、引き続き“紅富士”の産地化・販売強化に向けた取組みを支援することとしています。



花色が濃く花持ちの良い  
ニオイザクラ「紅富士」



展示会で高い評価が得られました